

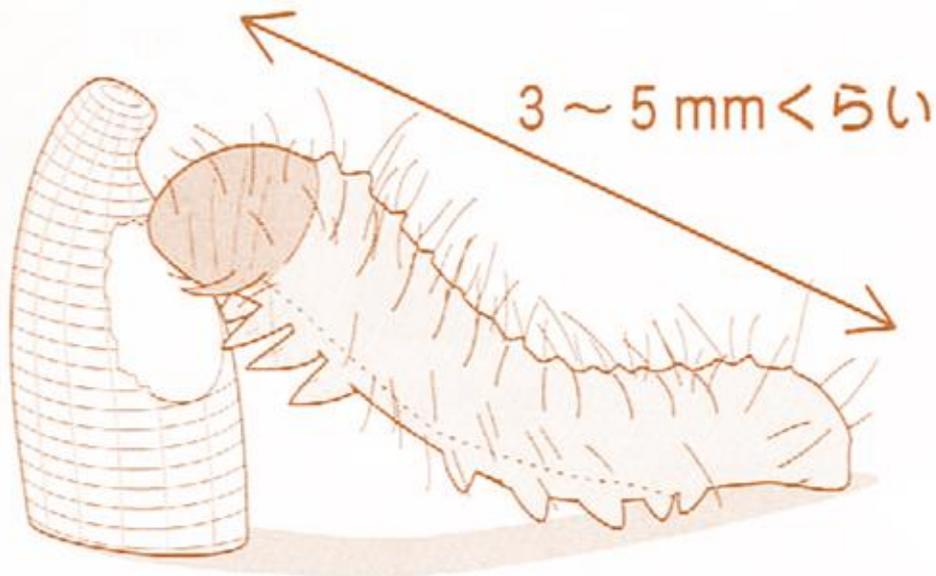
問題 モンシロチョウは、たまごからどのように育つのだろうか。

1 モンシロチョウのたまごから出てきてすぐのよう虫を調べてみよう。(教科書 P28 をさんこう)

モンシロチョウ

5 月 18 日 天気(晴れ)

(育ち方②)



色 黄色

形 丸くて細長い。毛がはえている。

大きさ 3~5 mm くらい

気づいたこと からを食べていた。

体をくねくねとさせながら動いていた。など



生きものをさわる前とさわった後には、手をあらう。

問題

モンシロチョウのよう虫は、どのように育っていくだろうか。

1 前に調べたときのようにすとくらべながらまとめよう。(教科書 P29をさんこう)

モンシロチョウ 5 月 21 日 天気(晴れ)

(育ち方③)

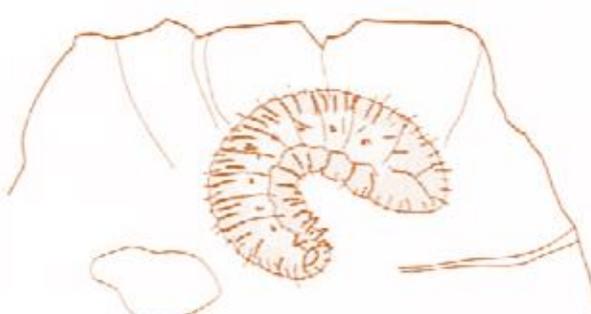
色 黄緑色

形 頭よりも体が太くなった。

大きさ 1cmくらい

気づいたこと 毛が多くなった。体が少しすき通っていた。

葉の表面に食べたようなあとがあった。



モンシロチョウ 5 月 28 日 天気(くもり)

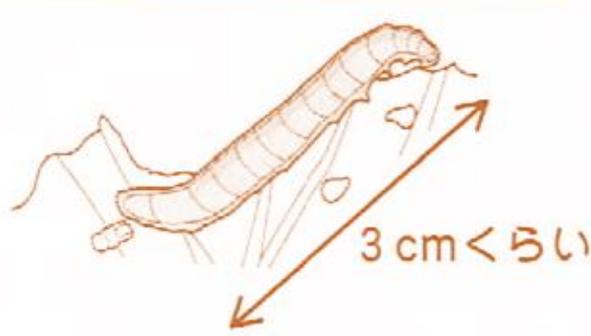
(育ち方④)

色 緑色

形 少し太くなった。

大きさ 3cmくらい

気づいたこと キャベツをたくさん食べ、こい緑色のふんをするようになった。



2 ()にあてはまることばを入れよう。

たまごは、やがて(色)がかわり、たまごの中から(よう虫)
が出てくる。出てきたよう虫は、(葉)を食べ、(くり返し)^{かわ}皮を
ぬいで、体が大きくなる。

問題 モンシロチョウのよう虫は、どのように育っていくだろうか。

- 1 葉を食べて大きく育ったモンシロチョウのよう虫は、やがてさなぎになる。さなぎはどのようにかわっていくのだろうか。さなぎのようすを、日にちをあけて調べてみよう。2回目は、前に調べたときのようにとくらべながらまとめよう。(教科書P30をさんこう)

モンシロチョウ

6月1日 天気(くもり)

(育ち方⑤)



色 黄緑色

形 三角みたい

大きさ 2cm 5mmくらい

気づいたこと 葉にくっついて、

じっとしていた。

モンシロチョウ

6月8日 天気(晴れ)

(育ち方⑥)



もよう

色 うす黄色

形 変わらない

大きさ 2cm 5mmくらい

気づいたこと はねのもようが

すけて見えた。

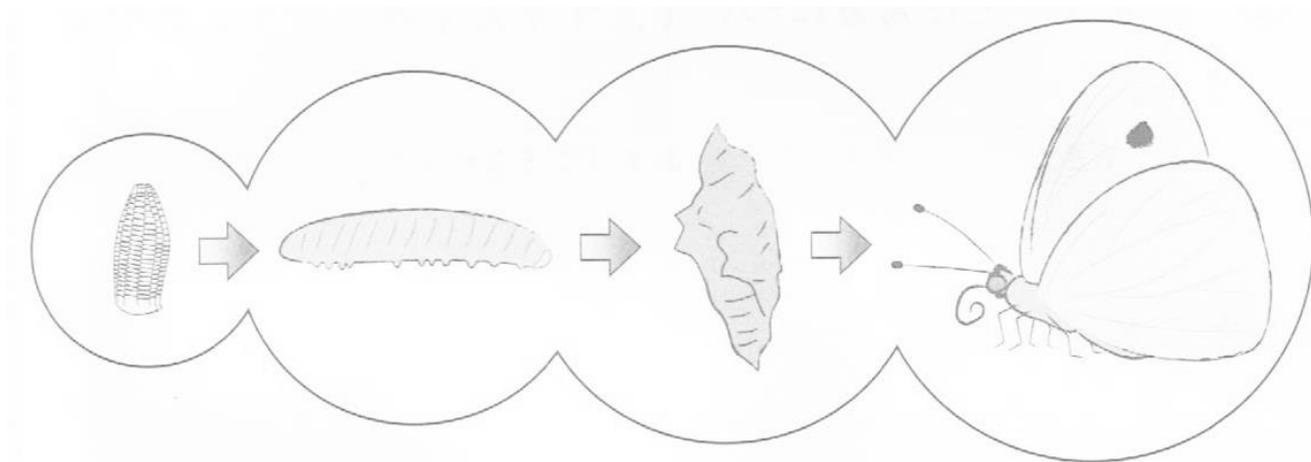
2 モンシロチョウは、たまごからどのように育つのだろうか。かんさつしたきろくをじゅんばんに見て、考えて自分のことばでまとめよう。

たまごから出てきたよう虫は、皮をぬいで大きくなり、せい虫の大きさになる。

よう虫からせい虫になるときは、さなぎになる。

など

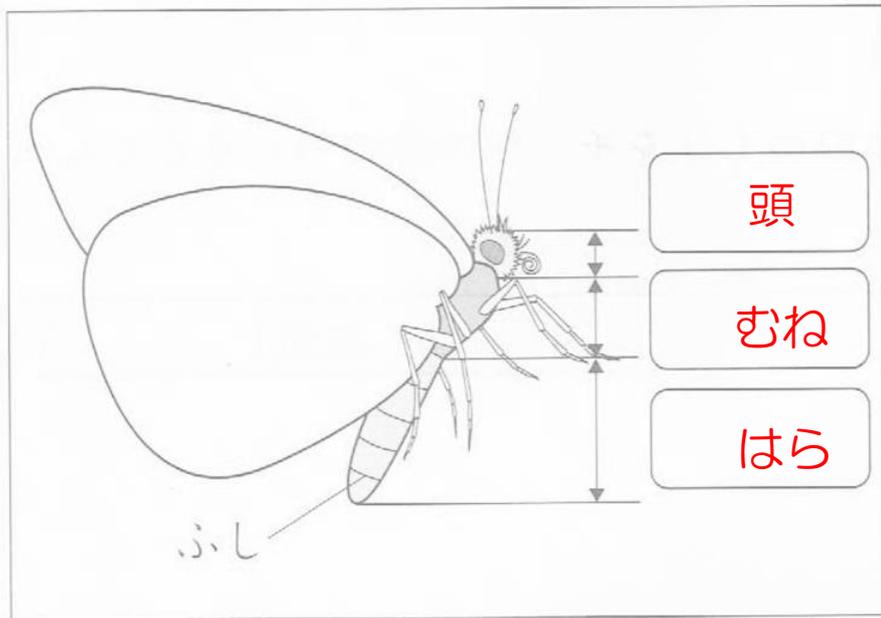
3 () の中であてはまることばを入れて、チョウの育つじゅんじょについてまとめよう。
(教科書P31をさんこう)



(たまご) → (よう虫) → (さなぎ) → (せい虫)

チョウは、(たまご) から (よう虫) になり、くり返し皮をかわぬいておおきくなる。やがて、(さなぎ) になり、さなぎの中で新しい体にかわって、さなぎから出て (せい虫) になる。

1 や () の中であてはまることばを入れて、モンシロチョウの体の分かれ方についてまとめよう。(教科書P34をさんこう)



- チョウのせい虫の体には、(頭)、(むね)、(はら) の3つの部分がある。
- (目)、()、(しょう角) は、頭についている。
- 4まいの(はね) と6本の(あし) は、(むね) についている。
- (はら) は、いくつかのふしからできている。
- 体が頭、むね、はらの3つに分かれ、むねに6本のあしがある虫のことを、(こん虫) という。
- チョウの口は、ふだんは(丸まって) いて、みつをすうときに(のびる)。
- 目や(しょう角) は、まわりのようすを知るために役に立っている。

かていがくしゅうプリント【3年理科 こん虫の育ち方】(教科書 p. 35~37)

3年()組()番 名前()

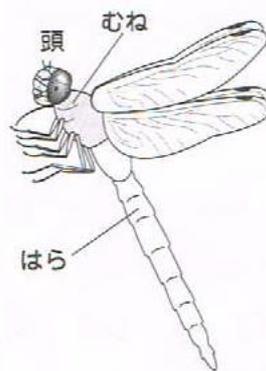
問題 こん虫には、ほかにどのような生きものがいるのだろうか。

1 これまでに見た虫から予想して書いてみよう。

トンボ、ダンゴムシ、バッタ、クモ など

2 いろいろな虫から1つ決め、その虫の体のつくりを、チョウの体のつくりとくらべながら調べよう。
(教科書P35をさんこう)

えらんだ虫(シオカラトンボ) 月 日 天気()



はね, あし, 目, 口, しょっ角のついているところ

頭に目・口・しょっ角がある。

むねにはねとあしがある。

気づいたこと

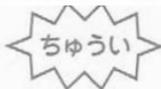
頭、むね、はらに分かれているのでこん虫だと思う。

はねの数

4 まい

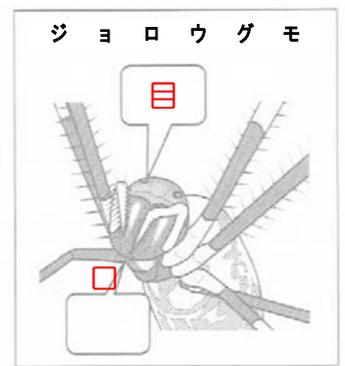
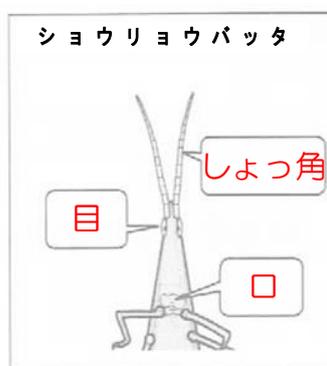
あしの数

6 本

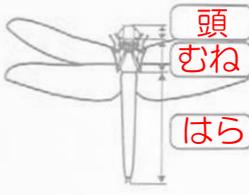
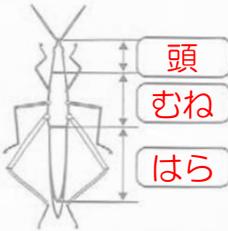
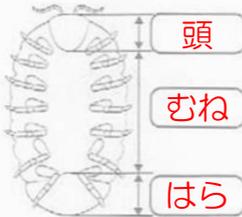
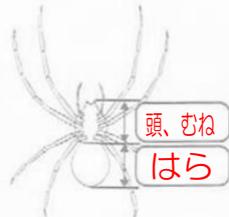


生きものをさわる前とさわった後には、手をあらう。

3 トンボやバッタ、ダンゴムシ、クモの目・口・しょっ角が、体のどこについているか調べよう。
(教科書P36、37をさんこう)



4 トンボやバッタ、ダンゴムシ、クモのせい虫の体のつくりをまとめよう。(教科書P36、37をさんこう)

名前	シカラトンボ	ショウリョウバッタ	ダンゴムシ	ジョロウグモ
体の分かれ方				
はねの数	4 まい	4 まい	0 まい	0 まい
あしの数	6 本	6 本	14 本	8 本

- ・ トンボやバッタは、チョウと同じ (**こん虫**) である。
- ・ ダンゴムシやクモは、(**こん虫ではない虫**) である。

5 いろんなこん虫の体のつくりを調べてみて、気づいたことを書こう。

トンボやバッタはチョウと同じ体のつくり方をしていた。ダンゴムシやクモはあしの数がかん虫より多い。

クモの体の分かれ方は、こん虫とちがう。 など

6 こん虫の体のつくりについて、下の () にあてはまることばを入れてまとめよう。

(教科書P37をさんこう)

- こん虫のせい虫の体は、(**頭**)、(**むね**)、(**はら**) の3つに分かれている。
- むねに (**6本**) のあしがあり、(**はね**) がついているものもいる。
- はらは、いくつかの (**ふし**) からできている。
- また、(**ダンゴムシ**) や (**クモ**) のように、こん虫ではない虫もいる。

かていがくしゅうプリント【3年理科 こん虫の育ち方】(教科書 p. 38・39)

3年()組()番 名前()

問題 こん虫はどのようなじゅんじょで育つのだろうか。

1 これまでにかんさつしたり、自分で育てたりした虫のようすから予想してみよう。

トンボのよう虫のやごもさなぎになると思う。 カブトムシもさなぎになるはず。

どのこん虫も、たまご→よう虫→さなぎ→せい虫というじゅんで育つと思う。 など

2 トンボやバッタの育ち方は、どのように調べればよいだろうか。教科書P.38、39を参考に、調べ方を考えて書いてみよう。

トンボやバッタのよう虫をかって、さなぎになるかたしかめる。

こん虫の育ち方を本やコンピュータで調べる。

3 いろいろなこん虫の育ち方を、チョウの育ち方とくらべながら調べて書いてみよう。

調べたこん虫の名前

トンボ

例

育ち方

たまごからよう虫が出てきて、よう虫からせい虫になる。

よう虫をやごという。

たまごは水草にうみつけられ、やごは水辺で大きくなる。

チョウの育ち方と同じところ、ちがうところ

<同じ>

たまごから生まれる

<ちがう>

トンボはさなぎにかわらなかった

かていがくしゅうプリント【3年理科 昆虫の育ち方】(教科書 p. 40・41)

3年()組()番 名前()

1 トンボやバッタの育ち方と、カブトムシやチョウの育ち方をくらべて、下の()にあてはまることばを入れながらまとめよう。(教科書P40、41をさんこう)

• シカヲソボ やシヨリヨハ ッタは、<たまご> → <(よう虫)> → <せい虫>のじゅんに育つ。このような育ち方を(不完全へんたい)という。

• カブトムシやモンシロチョウは、<たまご> → <(よう虫)> → <(さなぎ)> → <せい虫>のじゅんに育つ。このような育ち方を(完全へんたい)という。

• トンボやバッタは、(たまご) から (よう虫) になり、(さなぎ) にならないで (せい虫) になる。

2 トンボやバッタの育ち方と、カブトムシやチョウの育ち方をくらべ、気づいたことを書こう。

• どの昆虫もたまごからよう虫になっている。

• さなぎになる昆虫とならない昆虫がいる。 など

3 昆虫の育ち方について、わかったことを下の()にあてはまることばを入れながらまとめよう。(教科書P41をさんこう)

• 昆虫は、「たまご → (よう虫) → (さなぎ) → せい虫」というじゅんじょや、または、「たまご → (よう虫) → せい虫」というじゅんじょで育つ。

かていがくしゅうプリント【3年理科 こん虫の育ち方】(教科書 p. 42・43)

3年()組()番 名前()

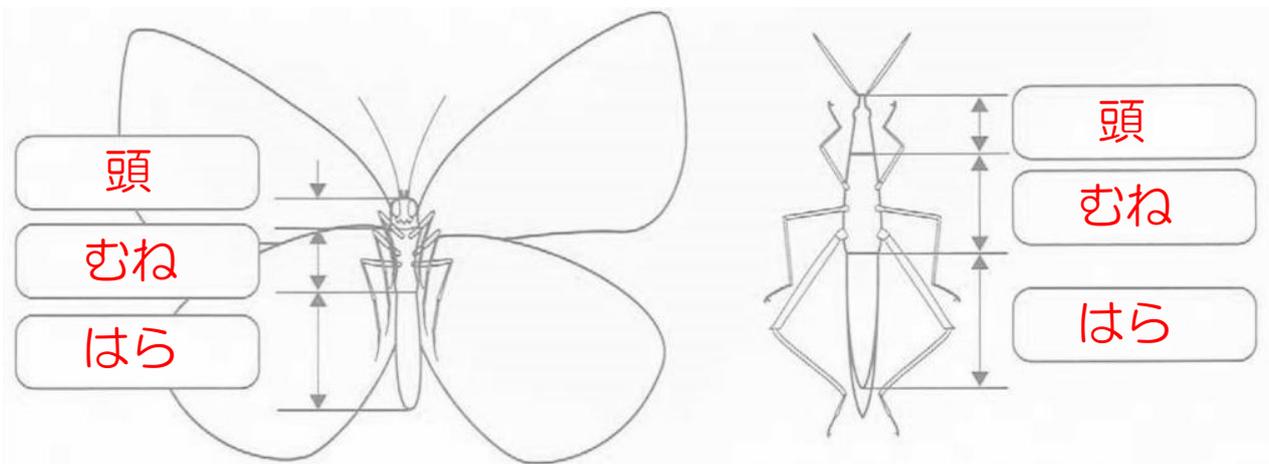
○ たしかめよう《教科書p. 42 さんこう》

① チョウやバッタが育っていくじゅんをまとめます。下の()の中にことばを入れて、それぞれの育ち方をせつめいしよう。

・ チョウは、たまごから(**よう虫**)になり、くり返し(**皮**)をぬいで大きくなる。やがて(**さなぎ**)になり、(**さなぎ**)の中で新しい体にかわって、(**せい虫**)になって出てくる。

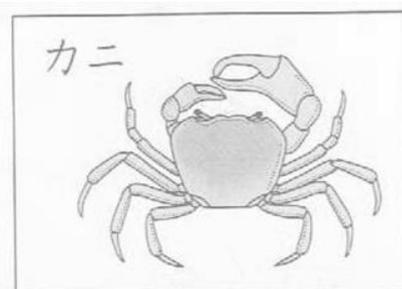
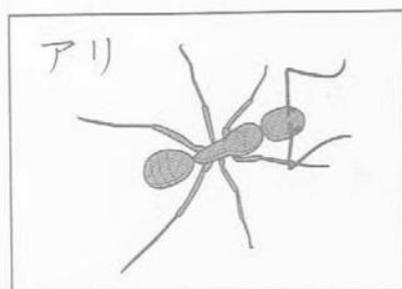
・ バッタは、たまごから(**よう虫**)になり、(**さなぎ**)にはならないで(**せい虫**)になる。

② チョウやバッタのせい虫の体は3つの部分からできている。それぞれ何というか。また、それぞれの部分を3つの色でぬり分けよう。



○ 学んだことを生かそう《教科書p. 43 さんこう》

① 下の生きものは、こん虫だろうか。こん虫なら○、こん虫でないなら△を()にかこう。また、そう考えた理由もせつめいしよう。



(理由) (**○**)

(**△**)

- ・ アリは、体が頭・むね・はらの3つに分かれており、あしはむねから6本出ているから、こん虫である。
- ・ カニは、体が3つに分かれておらず、あしも8本あるので、こん虫ではない。